

明治初期の 赤坂見附・弁慶濠端の区役所

赤坂見附から渋谷方向を眺望する写真だ。右がまだ弁慶橋の架かっていない弁慶濠、左が溜池で、弁慶濠の端に見える平屋が、この後明治11年に東京府15区が成立した時に赤坂区役所となったようだ。坂を歩く水売りの呼び声に、庶民の哀歓が滲む写真師・内田九一のベストショット。

清水あつし



写真・シェイクスピア・ギャラリー

ちよだ
かわら版

千声会

vol.7

2024 年 11 月 18 日発行

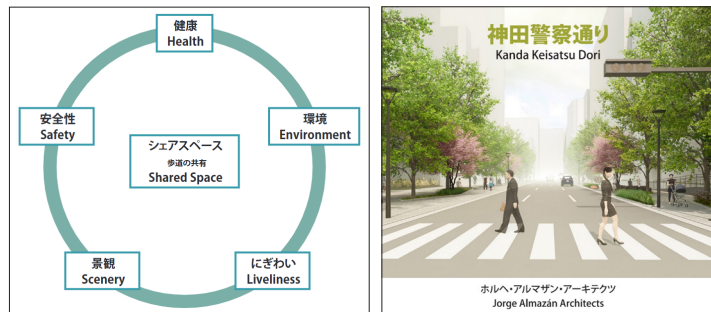
千声会

sensei_info@ml.globis.co.jp

お年寄りにも子どもにも優しい「街路」のあるまちに

「千代田区民の声を届ける会」(千声会)は、地域のよい環境を守り、より良いまちづくりを進めるために行政や議会に区民の声を届けるべく、有志を中心に立ち上げた会です。千代田区では近年、地域の人々のさまざまな声を十分に吸い上げず、住民に対する説明やその手順も不十分なまま、一部事業者の優遇や、開発ありきとしか思えないような地区計画の変更・地域開発を、強引と言わざるを得ないやり方で進めています。

私たちは、地域の一人ひとりが持つ多様な意見を交え、より豊かな地域を一緒につくっていきたいと考えています。その声は小さくても、集まれば力になります。その第一歩として、「千声会」はこの「かわら版」を作りました。手に取ったみなさまが、ふと立ち止まり一緒に考えてくださることを願っています。そして、一緒に住みよいちよだをつくりませんか。



アルマザンさん提案の表紙(右)とシェアスペース(シェアード・スペース)の考え方(左)



神田警察通りの現状(上)と千代田区案(左下)、アルマザンさんの提案にはA案とB案があり、右下のものは提案A(舗装を統一し6メートル幅の歩道を自転車・歩行者共有化)



シンプルに舗装を統一し共有空間化するアルマザンさん提案
A秋の風景(全面舗装案)。神田税務署前交差点から見る



同じく神田税務署前交差点から見る。四季の草花やベンチをつくりこんだ提案B春の風景(四季の道案)



提案Bでは、イチョウとイチョウの間や周りにサクラや草花を植えたり、ベンチを置いている(春の風景)

私はちよだカフェのファンです。都合がつく限り参加しています。9月3日(火)には「ウォーカブルな都市のデザイン」と題して、神田警察通りの事例から考える勉強会がありました。講師のホルヘ・アルマザンさんは慶應義塾大学理工学部准教授で、スペイン登録建築家。スペインでは建築家が都市デザインに関与するのは普通のことなんだそうです。アルマザンさんは言います。「神田警察通りのイチョウを伐らなくても、道路整備はできます。考え次第で、お年寄りが憩い、子どもたちが遊ぶ、笑顔と健康を増やし、気候危機にも対応できるデザインはあるのです」そのデザインとは、「歩道の共有化(シェアード・スペース)」という考え方です。千代田区は、歩道幅を6メートルに広げるのですが、太いイチョウの木は通行の妨げになるとしてイチョウを伐採し細いヨウコウザクラを植えようとしています。一方、アルマザンさんの提案は、

6メートルの歩道幅を生かしイチョウの木を真ん中にして自転車通行と歩行者通行が譲り合い共存するというもの。イチョウの両側に2メートル以上のスペースができるわけですから、車いす利用者も、ベビーカーも楽々通れますね。さらに、植樹帯もやめて、イチョウの周りに持つてくれば、ここにベンチを置くこともできます。ヨウコウザクラや四季の草花を植えてもいいでしょう。一年中楽しめる道になるはずです。もっと言えば、ガードレールもとれば、緊急車両も停められ、ずいぶん広々とした気持ちの良い道になりますし、現に銀座通りではガードレールはありません(場合によっては車止め(ボラード)の設置も可能)。今、世界の潮流は「道路から街路へ」です。6月14日(金)に住民たちが企画した勉強会では、バルセロナとオンラインでつなぎ、アルマザンさんの通訳でバルセロナ市の住宅都市局長ジャウメ・バルナダさんに直接みんなで話を聞

神田警察通りの道路整備
スペイン人建築家ホルヘ・アルマザンさんの提案に思う

区民の声(神田在住)

きました。バルセロナでは、このシェアード・スペースの考え方を取り入れたデザインが成功し、幸せそうな道がたくさんできています。ジャウメさんによれば、「街路は都市そのもの、生活の場所なのです」道路から街路へ。よりよいデザインに一票です。

この問題 千代田区の弁護士はこう見えています

神田警察通りⅡ期工事の街路樹伐採を巡る住民訴訟では、2021年9月の区議会企画総務委員会における「今ある街路樹がその位置にあると整備ができない」との答弁が虚偽であったかどうかが争点となっています。

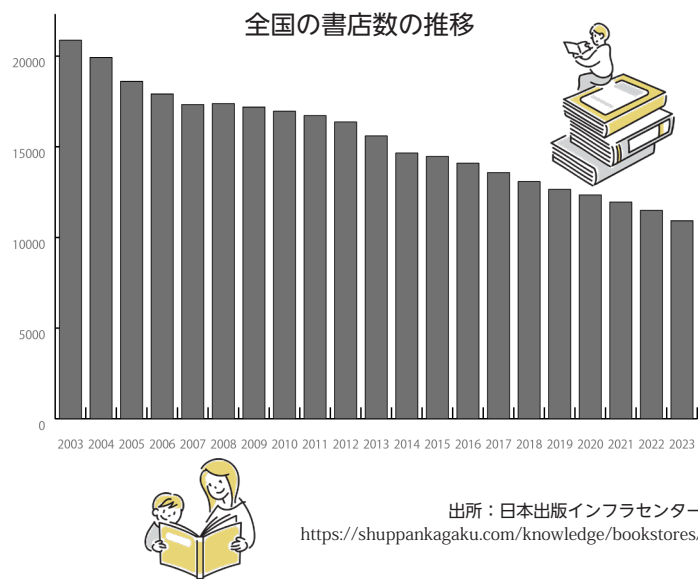
原告側はその答弁が虚偽であることを示すため、アルマザン准教授の意見書を証拠として提出しました。同意見書は、既存の街路樹を残しつつ歩道を拡張できることを証明し、「人と賑わい中心の道路」への転換やヒートアイランド現象対策など、地域課題解決の具体案も示しています。

千代田区は当初より伐採ありきで沿道整備推進協議会を運営し、議会においても「伐採しなければ歩道の有効幅員2.5mが確保できない」との虚偽答弁をして契約承認の議決を得たため、原告側はその議決が無効であると主張しています。

行政が虚偽答弁によって議会での正当な審議の機会を奪うことは、地方自治と民主主義の根幹を揺るがすものです。この住民訴訟では、信頼失墜をもたらす区政の重大な誤りを司法により是正することを求めています。



早稲田リーガルコモンズ
法律事務所
弁護士 久道瑛未

千代田区が丸見え！ **おもしろデータ**

読書の秋がやってきました。本を読んでいますか？買っただけで満足してしまった本や、途中で投げ出してしまった本もあるかもしれません。個人的には、そんな「積ん読（つんどく）」本でも、自分で選んで手元に置くこと自体に価値があると感じます。その時々自身の関心事が形になって見えるからです。また、作者が人生を通して得た知見や思いを注いで書き上げた1冊の本と出会える奇跡に、喜びを感じます。

さて、今回はそんな貴重な本を扱う本屋さんに着目しました。日本の書店数は減少傾向が続いており、2024年3月時点で1万918店と、10年前の1万5602店から約3分の2に減っているとのこと。実感としても、スマホの利用等により、急速に活字離れが進んでいるように思います。（日本出版インフラセンター調べ）

しかし、そんな中でも東京は日本で最も書店数が多く、とりわけ千代田区神保町には、多くの本屋さんが集まっています。神保町は、かつて多くの文豪が通い詰めた古書店街で、現在も約130軒以上の古書店が並んでいます。（「BOOK TOWN じんぼう」より）古書店という少し敷居が高く感じるかもしれませんが、文学や歴史に限らず、サブカルチャーやスポーツなどさまざまなジャンルの本が揃っているの、見て回るだけでも楽しめます。また、カフェも多く、休日によつたりと過ごすのにぴったりの場所です。

2014年、フランスでは、街の本屋さんを守るために、送料無料のネット販売を禁じる「反アマゾン法」が施行されたそうです。私たちも、できるだけ街の本屋さん足運び、本屋さんはもちろん、この文化の薫り高い街並みを大切にしていきたいですね。

第6回

ちよだカフェ

ちよだカフェ（今年）最終回！みんなで、まちの「これから」を考えませんか？

12/10（火）18:30 ～ **参加無料！**会場：グロービス経営大学院東京校 1F ホール
千代田区二番町5-1みんなで考える **ちよだのこれから**【講師プロフィール】 **小島 敏郎** [こじま としろう]

1949年生まれ。岐阜県出身。東大法学部卒業。環境庁（現・環境省）入庁。国際連合アジア太平洋経済社会委員会での勤務、イギリス王立国際問題研究所での研究生活も経験。地球環境局長、地球環境審議官を歴任。青山学院国際政治経済学部教授、東京都顧問などを経て、現在、早稲田リーガルコモンズ法律事務所顧問・弁護士。著書に『これだけは知っておきたい日本の政治 国と地方自治体の政治家と官僚』

今年7月に始まったちよだカフェ、その第1回目の講師が小島敏郎さん。レクチャーのタイトルは『民主主義と都市計画～情報公開と住民参加～』、多くの共感を呼びました。

12月10日、皆さんのリクエストにお応えし、今年のちよだカフェのトリとして再び小島敏郎さんにご登壇いただきます。また、千代田区内のまちづくりの最新情報を皆さんと共有する予定です。2024年から2025年へ、千代田区はどう動いて行くのでしょうか。何より私たち住民はこれからの千代田区のまちづくりに何を望むのでしょうか。

次の世代を見据えた千代田区のまちづくりを、みんなで考え、表現する時が来ています。千代田区のまちづくりビジョンを共に考え、語り合い、共有する場にしたいと思います。どうぞ奮ってご参加を！！

「ちよだカフェ」には、千代田区のことをよく知る弁護士の大城聡さん・久道瑛未さんが毎回参加してくださいます。お2人は、常に住民の側に立ってさまざまな問題解決のために奔走する優しい弁護士さんです。



久道瑛未弁護士・大城聡弁護士



来年2月は千代田区 区長選&区議会議員補欠選

12月10日（火）午後2時から千代田区役所4階会議室にて「令和7年2月2日執行の千代田区長選挙および千代田区議会議員補欠選挙に係る立候補者説明会」が開催されます。これからの千代田区をつくる大切な選挙です。どんな方が立候補されるのか注目のうえ、2月はぜひ、投票へ！

<https://www.city.chiyoda.lg.jp/koho/kuse/koho/pressrelease/r6/r608/20240826.html>

二番町地区計画変更の
説明会のお知らせ

二番町地区計画変更（日テレ跡地再開発）について、本年7月に告示がありましたが、

- ・どう決まったの？
- ・都計審の附帯決議ってどんなもの？
- ・工事はいつからどのくらい？
- ・エリマネ棟って何？

など、いろいろわからないとの声が多く寄せられています。

そこで、これらについて、区の担当の方から説明をうかがえることになりました。どなたでもご参加いただけます。皆様のご来場をお待ちしております。

日時：12/17（火）18:00 ～

会場：グロービス経営大学院東京校 1F ホール

内容：今年7月に決定した「二番町地区計画変更」の
区のご担当者による説明および質疑応答

申込：URL、QR どちらからでも、ご入力ください。

<https://forms.gle/d9ga221xgzwG5FEj8>

主催：千声会

※区が配布資料数を確認するためです（ニックネーム可）

※質問も記入できます

※当日の飛び込み参加も可能ですが、資料の都合上、できるだけ事前申し込みをお願いいたします。



生活の質・住環境を更に良くするために、あなたの声を聞かせてください

私たちが目指す千代田区

- 1、歴史・教育・文化を大切にする“まち”
- 2、いつまでも住みたい、そして住み続けられる“まち”
- 3、一人ひとりが尊重され、区民の声が届く“まち”



代表 堀義人



千声会 HP

千代田区民の声を届ける会 事務局 sensei_info@ml.globis.co.jp